

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
自然科学 I	講義	1年次前期	1単位/30時間	外部講師 専任教員
目的:生物学および化学的視点で、ヒトを含む生命現象について理解する。生物・化学の基本的な知識を身に着けることによって、医療・看護の専門科目の理解を深める。 目標:①生体内の反応とその機能が理解できる ②病態を理解する科学的知識を身に着けることができる				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	生命体のつくりとはたらき	①生命と生物学 ②看護・医学の基礎科学としての生物学 ③細胞の構造と機能	
2	/ ( )	生体維持のエネルギー①	①生体内の化学反応 ②化学反応とは ③生命を維持するためのエネルギー	
3	/ ( )	生体維持のエネルギー②	①解糖系 ②TCA回路 ③電子伝達系	
4	/ ( )	細胞の増殖とからだのなりたち	①細胞分裂 ②細胞の分化とからだのなりたち ③細胞の老化	
5	/ ( )	遺伝情報とその伝達・発現のしくみ	①遺伝の法則と染色体 ②遺伝情報の担い手-DNA ③DNAの複製 ④遺伝情報の伝達-RNA ⑤タンパク質の合成=翻訳	
6	/ ( )	遺伝情報とその伝達・発現のしくみ	⑦変異 ⑧ヒトの遺伝	
7	/ ( )	個体の調節	①ホメオスタシス ②各器官系のはたらき ③神経性相関 ④液性相関	
8	/ ( )	刺激の受容と行動	①神経系における情報処理の特徴 ②神経系の情報伝達 ③神経系の系統的発達 ④効果器のはたらき ⑤行動 ⑥記憶	
9	/ ( )	体液①	①体液の区分と組成 ②電解質 ③水の動態	
10	/ ( )	体液②	無機質と微量成分	
11	/ ( )	体液③	①酸・塩基とは ②アシドーシス・アルカローシス	
12	/ ( )	無機化学	溶液と浸透圧	
13	/ ( )	有機化学	アミノ酸とタンパク質	
14	/ ( )	有機化学	合成高分子化合物	
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 基礎分野 生物学 (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
自然科学Ⅱ	講義	1年次前期	1単位/15時間	外部講師
目的:物理法則のもの見方、考え方の基礎を学ぶ。日常生活で身近な現象について物理的に理解することで効果的で安全安楽な看護技術の提供につなげることができる。  目標:①日常使われている物理量と単位について理解できる ②代表的な物理法則を理解できる ③物理学がどのように看護・医療に応用されているかを理解できる				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	運動と力	看護における自然科学(物理学)の必要性 物理を学ぶために	
2	/ ( )		物理を学ぶために 指数、数詞の接頭語 等運動と力	
3	/ ( )	力と仕事①	自由落下 力と加速度、重力 力のつり合い	
4	/ ( )	力と仕事②	力の合成・分解	
5	/ ( )	力と仕事③	力のモーメント 仕事とエネルギー	
6	/ ( )	エネルギー	エネルギー 圧力	
7	/ ( )	圧力	圧力 浮力 水圧	
8	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:講師配布資料				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
生活科学	講義	1年次前期	1単位/15時間	専任教員
目的: 日常生活および看護場面における「なぜ？」を科学的に考察し、生活の質を向上させる。 また、生活科学という学問を通して、看護学生の科学的リテラシーの向上を目指し、それぞれの看護学領域の学びに繋げることができる。  目標: ①日常生活および療養生活をより良くするための科学的な考察ができる ②看護技術・医療行為の科学的根拠について正しく理解できる				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	界面活性剤の謎	①界面活性剤とは ②表面張力とは ③汚れを効率的に落とすには	
2	/ ( )	紙おむつの謎	①吸水ポリマーとは ②どのぐらい水を吸うのか	
3	/ ( )	錯視の謎	①錯視とは ②効果的に見せるテクニック ③陰影の効果 ④カラーが持つ効果	
4	/ ( )	洗濯物の謎	①どのように風を通すか ②乾燥の3要素	
5	/ ( )	静電気の謎	①電気とは何か ②直流・交流 ③感電	
6	/ ( )	ホコリの謎	①ホコリの正体 ②落下菌の培養	
7	/ ( )	圧力の謎	①高気圧? 低気圧? ②無重力になると… ③さまざまな圧力の単位	
8	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 講師資料				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
社会学	講義	1年次前期	1単位/30時間	外部講師
<p>目的: 社会の変化に伴い日常生活も変化しているその変化が、健康や看護と社会がどのようにかかわっているか保健医療の観点から理解し、社会人、職業人としての関わり方の基本的な考え方を学ぶ</p> <p>目標: 1.人間が社会的な存在であることを理解する  2.家族と地域社会の変容過程とその将来像を理解する  3.家族と地域社会の中に働くメカニズムを理解する  4.自らの社会観を問い直し、新しい社会関係を作ることとは何かを理解する  5.信頼・安全・安心を社会的に構築するために必要なことを、自身の言葉で表現できる</p>				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	社会学の基礎概念	①行為 ②社会的行為 ③相互行為 ④社会関係 ⑤地位一役割 ⑥集団組織 ⑦ネットワーク制度 ⑧グローバルシステム ⑨社会変動とグローバリゼーション	
2	/ ( )	社会学的視点とモデル	①合意とコンフリクト ②構造と解釈 ③構造と過程 ④意図せざる結果 ⑤モデルの応用に向けて	
3	/ ( )	保健医療と社会学 社会調査の理論と技法	①社会関係資本 ②公衆衛生と社会医学 ③病者の視点と社会視点 ④社会システムとしての医療 ⑤保健医療と社会学 ⑥社会調査 ⑦量的調査と質的調査 ⑧量的調査の企画と実施 ⑨質的調査の方法 ⑩社会調査の理論	
4	/ ( )	健康・病気と社会	①健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり ②健康・病気の新しい見方・とらえ方	
5	/ ( )	健康・病気と社会	①健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり ②ストレスとストレス、対処そして健康・病気	
6	/ ( )	健康・病気の社会格差	①社会格差と平等 ②健康・病気の社会格差の諸相 ③社会格差による健康格差の発生のメカニズム ④社会格差是正の取り組みと可能性	
7	/ ( )	「働き方」「働かせ方」と健康・病気	①「働き方」と「働かせ方」 ②「働き方」と「働かせ方」による健康への影響 ③健康に与える職場の要因 ④仕事と生活の調和	
8	/ ( )	健康・病気の行動と病経験	①健康と病気の行動 ②病経験 ③病の語り ④ヘルスリテラシー	

9	/ ( )	患者-医療者関係とコミュニケーション	①コミュニケーション ②患者-医療者関係とコミュニケーション ③わが国の患者-医療者関係とコミュニケーション ④患者アドボカシー ⑤患者と医療者の協働	
10	/ ( )	保健医療の専門職	①保健医療職種 ②専門職論 ③専門職論の変容 ④看護職論の現在 ⑤保健医療職種間の協働に向けて	
11	/ ( )	性・ジェンダー・家族と保健医療	①性別・性差とは ②ジェンダーとケア役割 ③ジェンダーと健康 ④結婚と家族 ⑤保健医療からみた結婚と家族 ⑥男女共同参画社会の形成に向けた取り組み	
12	/ ( )	地域社会と保健医療  保健医療制度	①コミュニティと地域 ②ソーシャルサポートと社会関係資本 ③ヘルスプロモーションにおける地域 ④地域の保健力  ①福祉国家と社会保障制度 ②保健医療システムと保健医療制度 ③わが国の保健医療制度 ④わが国の保健医療制度の変容 ⑤わが国の保健医療制度をめぐる課題	
13	/ ( )	保健医療の現代的変化の位相	①保健医療システムの現代的変化 ②保健医療システムの変容 ③わが国の医療システムの特徴 ④わが国の医療システムの課題	
14	/ ( )	ケアと医療:新しい地平を求めて	①ケアと医療 ②ケア論 ③ケア論の歴史的意味 ケア論の社会的意味 ④ケアと医療との新たな関係性に向けて	
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
看護英語	講義	1年次 後期	1単位／30時間	外部講師
目的:看護の場面での英語表現と語彙を学び、実際の看護の場面で使えるようにする。 目標:実際の看護の場面で、英語による簡単なコミュニケーションをとれるようになる。 医療や臨床で使う英語を理解し、使えるようにする。				
評価方法 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1		導入		
2		医学用語の効果的な学び方		
3		接尾語	① 症状 病院受付表現	
4		接尾語	② 接尾語 診断	
5		接尾語	③ 手術 風邪の間診	
6		語幹	① 骨格系 捻挫のアセスメント	
7		語幹	② 神経・感覚器系 バイタルサイン	
8			前半のまとめ	
9		語幹	④ 消化器系	
10		語幹	③ 呼吸器・循環器系 血液・尿検査	
11		語幹	⑤ 尿生殖器系	
12		語幹	⑥ 色、細胞 胃潰瘍の診察	
13		接頭語	① 感覚器系	
14		接頭語	② 方向・位置関係 糖尿病の診察	
15	11/4(金)	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 基本の101語を組み合わせる学ぶ医学英語(日本看護協会出版会)				
備考:				

授業科目名の区分		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
情報科学	講義	1年次前期後期	1単位/30時間	外部講師
目的：思考力と判断力を、問題解決能力を高めるために意図的に情報通信技術(ICT)の活用ができる。 目標：ワードプロセッサ、表計算、画像処理、プレゼンテーションソフトの操作等ができる 評価方法：1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1とを総合的に判断す				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	情報の定義と特徴	①情報とは ②情報の特性 ③情報の認知と意思決定 ④情報の伝達とコミュニケーション	
2	/ ( )	情報化社会	①情報化社会の成立 ②情報か社会で求められること	
3	/ ( )	保健医療と情報	①医療における情報 ②エビデンス情報に基づいた保健医療 ③ヘルスプロモーションと情報	
4	/ ( )	看護とICT	①看護における情報 ②情報化社会と看護 ③ICTを利用する能力(コンピテンシー) ④必要な情報を入手し、理解し、評価して活用する方法	
5	/ ( )	医療における情報システム	①医療における情報システム ②病院情報システムと記録の仕方 ③保健医療福祉のネットワーク	
6	/ ( )	情報倫理と医療倫理	①情報倫理 ②医療倫理	
7	/ ( )	患者の権利と情報	①患者の権利と自己決定への支援 ②診療情報の開示	
8	/ ( )	個人情報の保護	①医療・看護における個人情報 ②患者の権利③情報の利用の仕方	
9	/ ( )	コンピューターリテラシーとセキュリティ	①コンピューターリテラシー ②ネチケット	
10	/ ( )	情報のリソース	①インターネット ②電子カルテ、遠隔システム ③動画視聴 ④分析 ⑤文献検索	
11	/ ( )	調査によるデータ収集方法 統計データの種類とまとめ方	①調査とは ②調査の目的を明確化する ③調査の方法を決定する ④分析枠組みと文政期手法を決定する ⑤調査を実施してデータを収集する  ①質的データ ②量的データ ③質的データのまとめ方 ④量的データのまとめ方 ⑤統計データのグラフ表示	
12	/ ( )	Excelによる統計解析	①データの入力形式と表示方法 ②データの種類の単純計算 ③正規分布の特徴～多変量解析	
13	/ ( )	文字情報の整理	①対象と目的に応じた文字情報整理のポイント ②論文の書き方の基礎 ③ワープロソフトの使い方	
14	/ ( )	情報の発表とコミュニケーション	①口頭発表とポスター発表 ②インターネットにおける発表とコミュニケーション	
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント：				
使用テキスト： 講師資料				
備考：				

授業科目名の区分		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
文化人類学	講義	1年次後期	1単位/30時間	外部講師
目的: 人間が社会的存在として、どのような社会関係や制度を発達させてきたかについて学ぶ。人間と文化、個人・家族、宗教、健康、死について考える 目標: 文化・通過儀礼・宗教・世界観・死を通して人間のつながりを学び、一個人としての自身を考える原点とする				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	文化と人間	①文化人類学における文化 ②文化の諸相	
2	/ ( )	文化と人間	①文化人類学はどのような学問か ②現代社会と文化人類学の現在	
3	/ ( )	文化人類学と質的研究	①質的思考から質的研究へ ②文化人類学とエスノグラフィー	
4	/ ( )	文化人類学と質的研究	③文化人類学とエスノグラフィー ④エスノグラフィーの現代的意義	
5	/ ( )	個人・家族・コミュニティ	①個人と社会 ②家族	
6	/ ( )	個人・家族・コミュニティ	③家族をこえたつながり	
7	/ ( )	人生と通過儀礼	人生と通過儀礼と境界倫理 ライフサイクルと境界倫理	
8	/ ( )	人生と通過儀礼	③儀礼の構造 ④通過儀礼とコミュニタス ⑤なぜ通過儀礼を経なければ大人になれないのか	
9	/ ( )	宗教と世界観	宗教を考みる 文化人類学の分析枠組みを通して宗教を考える	
10	/ ( )	宗教と世界観	②文化人類学と儀礼研究 ③トランスナショナル時代における宗教と世界観	
11	/ ( )	健康・病気・医療	①健康と文化 ②病気と治療	
12	/ ( )	健康・病気・医療	③医療の体系 ④環境と健康	
13	/ ( )	人間と死	「いのち/生命」の多様性 誕生と死における人のいのち/命	
14	/ ( )	人間と死	いのち/生命と身体 まとめ	
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 (医学書院)				
備考:				



学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
家族論	講義	1年次後期	30時間	外部講師
目的:家族の概念、現代社会における家族(特徴・問題)、家族看護の役割について学ぶ				
目標:看護職として家族に向き合うための姿勢を身につける。 家族看護の基本的な考え方を学ぶ。				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%)				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	「家族」とは	なぜ家族論?	
2	/ ( )	「家族」とは	家族とは? (グループワーク)	
3	/ ( )	「家族」とは	何が家族であるのか ないかの要因	
4	/ ( )	「家族」とは	日本家父長的家制度と現代	
5	/ ( )	「家族」とは	家父長制の弊害	
6	/ ( )		家父長制に対抗するもの	
7	/ ( )		家父長制と語り合う家族	
8	/ ( )	グループワークで理解を深める	様々な家族 障害と家族	
9	/ ( )	グループワーク	障害と家族、障害家族関係の様々な型	
10	/ ( )	グループワーク	家族関係の変容	
11	/ ( )	グループワーク	離れて暮らすことの意味	
12	/ ( )	グループワーク	〃	
13	/ ( )	グループワーク	新しい家族の在り方の可能性	
14	/ ( )	まとめ	新しい家族 人を結びつけるのは何か?	
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
講師からの配布資料				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
論理学	講義	2年次前期	1単位／15時間	外部講師
目的:概念の形成や命題(判断)および推理の論理的な組み立てから、科学的思考に到達するための論理的思考について学ぶ。 目標:①論理的思考について理解できる ②論理的思考を活かした文章の構築ができる ③論理的思考を活かした文章表現を活かしつつレポートが書ける				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	「開講の言葉」 文	①授業の手順 ②作文例とその分析 ③思考の単位としての文	
2	/ ( )	文	④論評の倫理 ⑤文の七原則 練習問題	
3	/ ( )	段落	①「論評」の意義 ②「段落」の意義 ③教材の分析・批判	
4	/ ( )	段落	④批判を発想する方法 ⑤構造図 ⑥段落意識の欠如	
5	/ ( )	段落	⑦書き出し部分の段落 ⑧段落内部の構成 ⑨段落意識の強まり	
6	/ ( )	語句	①「私の看護観」の分析	
7	/ ( )	語句	②正確・明瞭な語句	
8	/ ( )	テスト	①なぜ読むべきか	
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 講師資料				
備考:				

授業科目名の区分		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
心理学	講義	2年次前期	1単位／30時間	外部講師
目的: 人間の行動・情緒・性格や基本的な人間関係の知識を習得する。また、自己及び他者の心理について学ぶ 目標: ①心理学の研究対象や研究方法およびその変遷について理解する ②さまざまな心理現象の仕組みや特徴について理解できる ③患者及び援助者の心理を理解したうえで看護に活かすことができる				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	心理学の問題	①心理学の発展 ②心理学の研究手法	
2	/ ( )	知覚の心理	①知覚の成立 ②知覚の種類 ③知覚研究の応用	
3	/ ( )	記憶の心理	①記憶の諸相 ②忘却の心理 ③記憶のくふう	
4	/ ( )	思考・想像・言語の心理	①思考・想像の心理 ②言語の心理	
5	/ ( )	知能の心理と知能検査	①知能の心理 ②知能検査	
6	/ ( )	学習の心理	①学習の心理 ②練習の心理	
7	/ ( )	感情・情緒・情操の心理	①感情の諸相 ②感情・情緒の異常	
8	/ ( )	適応の心理	①人と環境 ②適応・不適応 ③適応の機制	
9	/ ( )	性格の心理と性格検査	①性格の形成 ②性格の理解	
10	/ ( )	集団の心理	①集団の形成と機能 ②集合行動	
11	/ ( )	発達心理	①発達の原理 ②発達段階の特徴	
12	/ ( )	カウンセリング	①カウンセリングの意義	
13	/ ( )	カウンセリング	②カウンセリングの方法	
14	/ ( )	医療と心理学	①医療と心理学の役割 ②患者の心理 ③看護理論と心理学	
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 基礎分野 心理学 (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
論理的思考	講義	2年次前期	1単位／15時間	外部講師
目的:概念の形成や命題(判断)および推理の論理的な組み立てから、科学的思考に到達するための論理的思考について学ぶ。 目標: ①論理的思考を活かした文章の構築ができる ②論理的思考を活かした文章表現を活かしつつレポートが書ける				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	読書	②何を読むべきか	
2	/ ( )	練習問題	※助産師と医療事故 臍帯脱出による胎児死亡事例から(P176)	
3	/ ( )	練習問題	※レディははかぬ?ジーパン ※教室を追い出された女子学生 阪大 米人講師の発言でひと騒ぎ(P186)	
4	/ ( )	練習問題	※車いす60人強行分乗 ※川崎駅前ターミナルバス46台ストップ 窓割り 座り込み 大混乱(P190)	
5	/ ( )	練習問題	※看護職養成は4年生大学で-患者は指導・教育者として期待(P203)	
6	/ ( )	練習問題	※ひとときりポート「乳幼児健診」対応にもっと配慮を	
7	/ ( )	練習問題		
8	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 講師資料				
備考:				

授業科目名の区分		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
人間関係論	講義	2年次前期	1単位/30時間	外部講師
目的:看護を含めた保健医療の援助は、援助を必要とする人と、援助をする専門職との密接な人間関係の上に成り立つことを理解する 家族の基本概念を学び、家族や家族関係について知識を深め、家族支援と方法について考える。 目標:①人間関係の知識とスキルを高める。 ②家族・家族関係について理解し、家族援助を行うことができる				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	人間存在と人間関係	①人間関係ととらえ方の次元 ②人間関係の基本的意義 ③看護ケアや社会福祉援助における人間関係のとらえ方	
2	/ ( )	社会的相互作用と社会的役割	①社会的相互作用 ②社会的役割 ③援助的役割を実現するためのガイドライン	
3	/ ( )	コミュニケーション	①コミュニケーションとは ②コミュニケーションの障害 ③援助的コミュニケーション ④IT機器の普及に伴う効用と問題点	
4	/ ( )	人間関係の研究と応用 人間関係の向上へのスキル	①人間関係に関する研究 ②カウンセリングに関する理論と実践 ③看護ケア、福祉への応用 ④体験による学習効果 ⑤体験学習での基本的姿勢 ⑥体験学習の源流 ⑦構成的な体験学習 ⑧看護教育での体験学習の課題	
5	/ ( )	保健医療チームの人間関係	①保健医療チームの特質 ②保健医療チームにおけるチームワーク意義 ③チームワークを促進する要因と阻害する要因 ④専門職の協力と連携に向けて	
6	/ ( )	闘病生活を支える人間関係	①患者・家族と保健医療従事者 ②闘病を支える人間関係	
7	/ ( )	終末期の患者と家族を支える人間関係	①終末期にある患者の人間関係の変化 ②患者との相互関係の構築とケア ③終末期の家族へのケア ④死別後の悲嘆プロセスを支える	
8	/ ( )	家族の人間関係と看護師のかかわり	①患者関係論と看護ケアの視点 ②家族看護の進め方	
9	/ ( )	ソーシャルサポートをめぐる人間関係 ノーマライゼーションをはぐくむ人間関係	①ソーシャルサポートとは ②ソーシャルサポートネットワークの活用 ③ボランティアを活用するための指針 ④ノーマライゼーションの基本概念 ⑤「援助すること」の再考 ⑥セルフヘルプグループの広がり ⑦QOLの向上を旨とする制度と援助	
10	/ ( )	家族とは	①家族をめぐる基本概念 ②家族の類型 ③家族の変貌 ④我が国における家族の変貌 ⑤家族看護の視点	

11	/ ( )	夫と妻のパートナーシップ (夫婦関係論)	①配偶者選択 ②親密性と性愛の心理 ③夫と妻の役割と常識 ④夫と妻の葛藤と離婚	
12	/ ( )	親と子と孫の絆 (親子関係論)	①ペアレンティングとは ②母性論 ③父性論 ④祖父母の役割	
13	/ ( )	家族と社会	①家族の生活文化 ②地域と家族 ③職場と家族 ④高齢化社会と少子化	
14	/ ( )	患者家族と在宅ケア 家族支援のアプローチ	①患者家族の臨床心理 ②家族の介護機能の揺らぎと支援 ③在宅ケアの家族とストレスマネジメント ④患者家族への看護ケア ⑤家族システム理論 ⑥家族発達段階論 ⑦家族への心理教育的方法 ⑧家族の心理的援助の方法	
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 系統看護学講座 基礎分野 家族論・家族関係論 (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
教育学	講義	3年次前期	1単位／30時間	外部講師
目的: 社会の本質、目的、方法、評価を学び、看護・医療との関連の理解を深める。 教育制度、現代教育の課題について学び、専門職業人として教育の意義を学ぶことを目的とする 目標: 教育と子どもの活動、人間の生活との関係、教育が子どもの成長や社会の発展に対して、どんな役割を持つかについて考える				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
to	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	社会の中の看護と教育	①社会・文化・人間形成 ②機能化された社会における教育と看護 ③新しい世代をつくりあげるしくみ	
2	/ ( )	教育とはなにか―「教育の概念」	①日常用語としての「教育」 ②形成と教科の世界 ③子どもを価値とする「教育」 ④自発的従属 ⑤教育の基盤としてのケア	
3	/ ( )	教育の対象―子ども観と発達	①子ども観の形成とその背景 ②発達という見方 ③権利主体としての子ども	
4	/ ( )	社会変動と教育	①大衆社会の成立と変容 ②大衆消費社会と情報化社会 ③少子化動向	
5	/ ( )	教育の組織化―学校	①学校の役割と機能 ②文化伝達としての学校方式 ③日本の学校 ④現代学校の課題	
6	/ ( )	教授―人を教えるということ	①コミュニケーションとしての教えること ②学ぶ・教えるということ ③省察 ④「教える-学ぶ」の関係の中でおきること	
7	/ ( )	訓育―他者とのかかわりを導く 養護―教育の受け手を見まもる	①かかわり合うことの困難 ②訓育とはなにか ③かかわりを導く技法 ④訓育の新しいかたち ⑤養護とは ⑥学校における養護の機能 ⑦学校における養護の過程 ⑧今日の学校における保健室の存在と役割	
8	/ ( )	発達―教育を受けて成長する	①発達を支える・促す ②「教育による発達」の理論 ③発達における身体と感情 ④発達と教育の未来像	
9	/ ( )	学びの場―学校と家庭	①学びの場＝学校という規範 ②家族と学校の関係 ③学校に通うという意味の変化 ④「学校に行かない子ども」をどう考えるか	
10	/ ( )	教育の目標と評価 教育のメディア―教育をデザインする	①評価と目標の関係 ②現在の目標・評価論 ③パフォーマンス評価 ④評価の開発と実践 ⑤メディアと教育 ⑥メディアとしての教師 ⑦学習者どうしのかかわり ⑧学習を取り巻く物と空間	

11	/ ( )	教育の担い手	①「専門職」としての学校教員 ②教員の仕事の特質 ③現代教育改革と学校教員 ④養護教員に学ぶ学校教員の専門性と専門職性	
12	/ ( )	教育の場をつくるしくみ キャリア教育	①発達保障の在り方を誰が決めるのか ②教育政策のあり方を誰が決めるのか ③教育要求はどのように組織化されるのか ④政策の方針はどのようにかえられるのか ⑤変貌する若者のキャリア ⑥キャリア教育にできること ⑦キャリア教育をつくる ⑧これからのキャリア教育	
13	/ ( )	ジェンダーとセクシュアリティ 特別ニード教育	①ジェンダー、セクシュアリティとはなにか ②ジェンダーと教育の課題 ③セクシュアリティと教育の課題 ④性の多様性 ⑤障害・看護・教育 ⑥特別ニード教育・インクルーシブ教育とはなにか ⑦障害とどう向き合うか ⑧発達障害に対する特別ニーズ教育・インクルーシブ教育	
14	/ ( )	生涯学習 シティズンシップ教育	①生涯学習の必要性 ②成人はどこで学ぶのか ③成人はどのようにして学ぶのか ④看護師の生涯学習 ⑤公共性の必要 ⑥シティズンシップ教育とはなにか ⑦政治的リテラシーの教育 ⑧「よき市民」から「無知な市民へ」	
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:現場からの教育再生 (アルヒーフ)				
備考:				



学科	第一学科			
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
体育	講義	3年次前期	1単位/30時間	外部講師
<p>目的：withコロナが叫ばれる現在、生活の質の向上のために主体的なライフスタイルの実現が重要である。また、生涯にわたり健康的な生活を営むために、継続的な運動・スポーツ活動は欠かせない。運動・スポーツ活動の実践をライフスタイルとして確立するための基礎的運動技能や環境づくりのための基礎的な能力を養っていく。</p> <p>目標：            ①生活のなかでの健康のとらえ方、保持増進・疾病予防、精神の健康などを理解し看護学学習の基礎として活用できる（レクリエーション含む）            ②運動と健康の関連を理解し、身体を動かすことで心身の育成を促すことができる。（3年次体育祭参加含む）</p>				
評価方法 1.筆記試験 2.実技・演習の参加態度・状況 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ( )	現代社会と健康 健康の保持増進と疾病の予防	①私たちの健康のすがた ②健康のとらえ方 ③運動と健康	
2	/ ( )	心の健康	①心身の相関とストレス ②ストレスへの対処 ③レクリエーションの基本的理解	
3	/ ( )	レクリエーションの展開方法	①表現力トレーニング ②コミュニケーションのあり方 ③レクリエーションのゲーム実際と指導 ④集団を介したレクリエーションの指導の実際	
4	/ ( )	レクリエーションの実際方法	①レクリエーションプログラムの実際 ②既成の遊びプログラム（子ども・高齢者など）	
5	/ ( )	心の健康と実践	実技 ズンバ	
6	/ ( )	心の健康と実践	実技 ズンバ	
7	/ ( )	心の健康と実践	実技 ズンバ	
8	/ ( )	心の健康と実践	実技 ズンバ	
9	/ ( )	心の健康と実践	実技 ズンバ	
10	/ ( )	心の健康と実践	実技 ズンバ	
11	/ ( )	心の健康と実践	実技 ズンバ	
12	/ ( )	体育祭	体育活動 創作ダンス	
13	/ ( )			
14	/ ( )			
15	/ ( )	テスト		
履修者へのコメント：				
使用テキスト： 講師資料				
備考：				